

意見交換会「どんぐり会との意見交換会」のまとめ

厚生文教常任委員会では、これまでも、障がい者福祉の向上について、調査を行ってきました。

今年度も、放課後デイサービス事業予定地、自立支援体験住宅の視察、また、新たに設定された障がい福祉活躍ゾーンの視察などを行うとともに、芽室町障がい者福祉計画に基づいた町の課題について調査を行ってきました。

現在は、第6期の福祉計画の進行中であり、今回寄せられた意見も、多くは其中で示されている課題と合致するものであったと認識しています。

今回の意見交換では、親なきあとの生活についての不安について、関係者の皆さんの率直な考えや不安など、改めてその実情を確認できた良い機会となりました。

今回いただいた意見は、次のような観点で精査・分類し議会としての今後の取り組みにつなげていけるよう整理した。

<芽室町における障がい者福祉の課題ポイント>

- ① 障がい者居住環境の整備
- ② 障がい者就労環境のさらなる充実
- ③ 災害・緊急時の対応

<課題整理の観点>

- 1 対応の分類（議会の視点）
 - (1) 短期的視点
 - (2) 長期的視点
- 2 客観的視点での精査
 - (1) 事実の確認（現状把握の必要性）
 - (2) 対峙の視点（違う立場の視点）
- 3 課題解決の要素整理
 - (1) ヒト・モノ・カネへの影響整理
- 4 解決策・対応策の確定
 - (1) 調査研究の要否
 - (2) 調査研究のスケジュール、手法、目標設定

その結果、厚生文教常任委員会としては、今回の意見交換をふまえて取り組むべき事項を次のようにまとめた。

なお、詳細については、次年度の政策課題として掲げる際に、改めて委員会内で協議・検討し決定する。

1 第6期芽室町障がい者福祉計画の進捗についての調査

第5期芽室町総合計画の中間地点にあたり、前期4年の状況を振り返るタイミングに合わせ、現状の把握、今後の取り組みについて調査研究をする。

2 障がい福祉活躍ゾーンの活用についての調査

今年度設置された障がい福祉活躍ゾーンをより有効に活用することにより、課題解決に向けた取り組みが進行できるよう調査研究をする。

なお、過去にも寄せられていたインフルエンザ予防接種助成や、合同納骨塚などについても、個別案件として整理し、現状の把握、今後の取り組みの可能性について担当課に伝えるとともに、調査してまいります。

意見交換会等フォーマット

意見交換会：芽室町手をつなぐ育成会どんぐり会との意見交換会

- 開催年月日： 3年 1月 19日
- 開催場所： 芽室町議会本会議場
- 出席議員： 渡辺議員 西尾議員 柴田議員 常通議員 正村議員 堀切議員
黒田議員
- 参加者： 田中稔さん 浅見さん 川原さん 小林さん 柴田さん 田口さん
竹内さん 田中邦彦さん 中村さん 森さん 山崎元己さん 山崎葉
子さん (合計：12人)
- 記録者名： 黒田

項目	内容	対応
障がい者用 高齢者施設	<p>高齢者施設は町内にもいくつかあるが、障がい者専用の高齢者施設があれば、より安心して、親なき後の生活が送れるのではないかと。</p> <p>また、より専門的な対応が可能になるのではないかと</p> <p>グループホームの需要はまだまだある。早急な対応を期待する</p>	<p>今後の建設予定についての情報提供を行いました。</p> <p>町としても、住居系サービスの充実に取り組んでる</p>
就労関係	<p>A型・B型いずれの形態にしても、事業所が存在してくれるのは大変ありがたいが、あくまでも企業とそこに働く労働者という関係性にとどまってしまう。</p> <p>定年後の生活など、懸念事項はたくさんある中で、「福祉施設としての役割」をも併せ持つような事業所があるとありがたい</p> <p>事業所でグループホームを運営してもらえるとありがたいが、難しいということも聞いている</p> <p>就労しても、やはり通勤などの課題が残る。公共交通機関が止まってしまうと、家族の送迎となるが、親も高齢化しておりなかなか難しい</p> <p>A型事業所は一般就労に至るステップだという世間の認識が不足しているのではないかと</p> <p>「障がい者の自立とは何か」という世間の理解醸成が進んでほしい</p> <p>芽室にはまだまだ働く場所が少ない。周辺町村に通っている人も多く、できれば町内で、就労、居住できる環境があるとよい</p>	<p>町は今年度「障がい者活躍ゾーン」を設定した。ゾーニングが適正かどうかも含め、今後、就労関係の課題及び、障がい者福祉についての課題を整理するとともに、解決に向けた取り組みの実現に向けて調査を継続する</p>
後見人制度 について	<p>後見人をお願いできる内容をもう少し拡大してほしい</p> <p>後見人制度を含めて、誰に（どこに）相談しているかわからない。窓口の整備をしてほしい</p>	<p>社協において、窓口業務を行っていることを確認</p>

意見交換会等フォーマット

体験住宅について	体験住宅を活用し、独り暮らしにつながった。実際に活用に至るまでには、相当な親の覚悟も必要になる。今後の利用促進には、親への丁寧な周知と説明が大切	今後も有効に活用されるよう、継続して調査する。
緊急時の対応について	急な病気などへの対応が心配。特に通院などの送迎は大きな課題 町で、緊急時対応専門の職員を配置するなど、人件費を町がみてくれることはできないだろうか 交通費もかなりの負担となっている	現在「カムカム」を福祉避難所に設定する検討をしている。 意見として伺い、担当課に伝える。
災害時の対応について	直接福祉避難所へ行くことを可能にしてほしい。「あいあい」など、現状以外の福祉避難所の増設も検討してほしい	意見として伺い、担当課に伝える。
緊急時の電源の確保	災害時の電源確保の状況はどのようになっているのか	整備の現況を伝える 防災マップの定期的な確認を促す
合同納骨塚について	以前より話題に出ている合同の納骨塚についての現段階の検討状況はどのようになっているのか	今後アンケートを実施し、議論を進めていくことを伝える
インフルエンザ予防接種について	障がい者年金での生活は、ゆとりのあるものでは決していない。 インフルエンザの予防接種について、助成を検討することはできないだろうか	様々な支援の一つとして可能かどうか、今後調査する

全体を通して

- ・地域全体として障がい者の生活を支えていく意識の醸成が大切
- ・できるだけ、芽室町内で完結する取り組み、仕組みづくりが理想